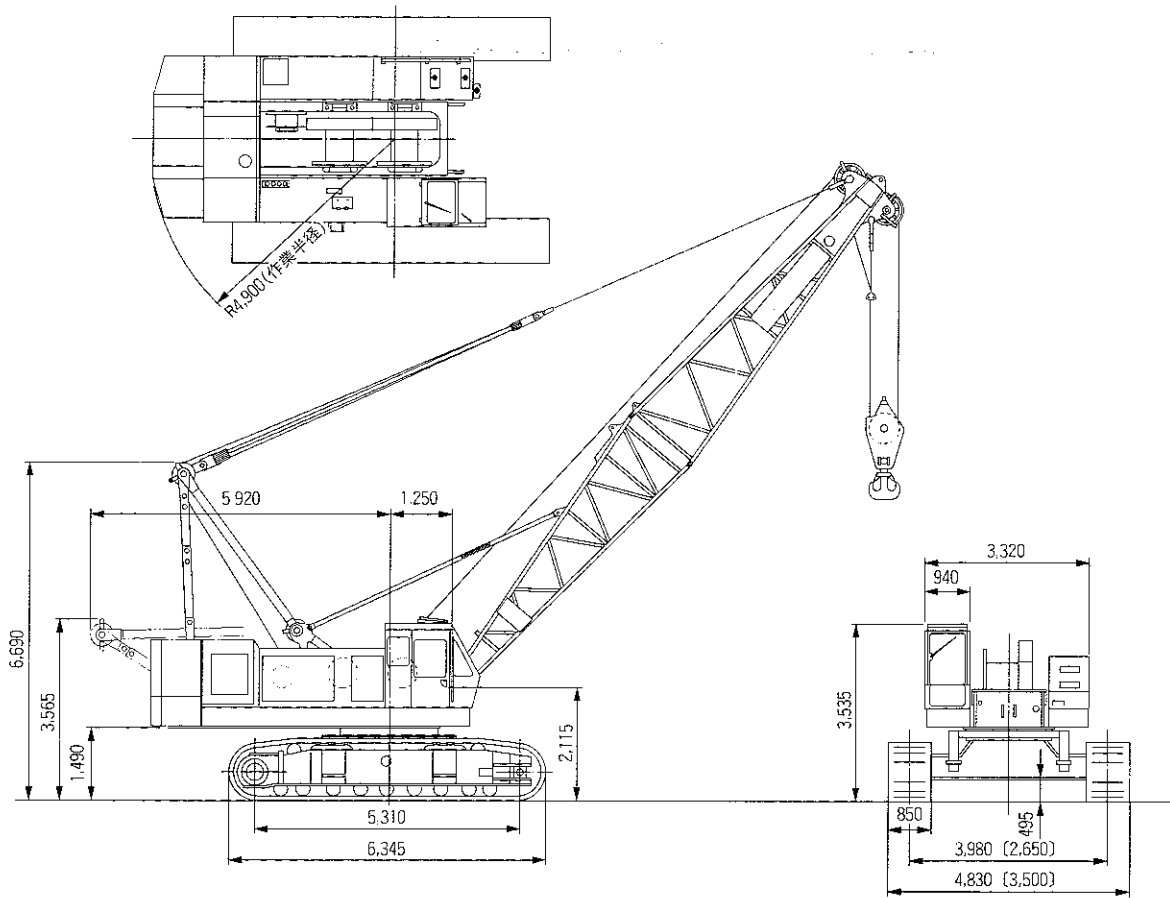


クローラクレーン

KH300-3

単位:mm

■寸法図



() 内はクローラ縮小時の寸法です。

■仕様

最大吊(つ)り上げ荷重		t×m	80×40		
ブーム長さ	基本ブーム	m	130		
	最長ブーム	m	58.0		
	ジブブーム	m	9.0~18.0		
	ブーム+ジブ付最長	m	49.0+18.0		
作業速度	ロープ速度	主・補巻上(高速/低速)	m/min	*92/*60/30	ロープ径 26mm
		主・補巻下(高速/低速)	m/min	92/60/30	
	ブーム速度	ブーム巻上	m/min	*40	ロープ径 20mm
		ブーム巻下	m/min	40	
旋回		(高速/低速) min ⁻¹ (rpm)	3.0/1.9(3.0/1.9)		
走行速度		(高速/低速) km/h	*14/0.8		
登坂能力		度(%)	16°40' (30) (13mブーム、80tフック付)		
全装備質量		t	約74.6 (13mブーム、80tフック付)		
接地圧		kPa(kgf/cm ²)	74.5 (0.76) (13mブーム、80tフック付)		
エンジン	名称	いすゞ 6RB1			
	定格出力	kW/min ⁻¹ (PS/rpm)	165.5/2 000 (225/2 000)		

〈注〉 本表の単位は、国際単位系によるSI単位表示。()内は、従来の単位表示を併記したものです。

* 負荷により速度変化します。

■分解輸送質量および概略寸法

主要部品名	質量(t)	長さ×幅×高さ(m)	備考
本体	28.90	6.22×3.32×3.04	下ブーム、カウンタウエイト、ワイヤロープ類、Aフレーム、ハンカ、トラックフレーム先端ビーム、左右クローラ等除く
クローラ(右)	9.50	6.35×1.01×1.23	
クローラ(左)	9.50	6.35×1.01×1.23	
カウンタウエイト(1)	10.00	3.26×1.00×0.67	
カウンタウエイト(2)	4.00	1.20×0.80×1.08	
カウンタウエイト(3)	3.40	1.00×0.80×1.16	
カウンタウエイト(4)	3.40	1.00×0.80×1.16	
下ブーム	0.99	6.68×1.80×1.70	
上ブーム	1.61	7.00×1.61×1.72	ペンダントロープ付
3m巻きブーム	0.48	3.13×1.64×1.72	//
6m巻きブーム	0.74	6.13×1.64×1.72	//
9m巻きブーム	1.07	9.13×1.64×1.72	//
ブームストップ	0.17	4.00×0.15×0.15	
ブライドル	0.35	1.62×0.75×0.21	
上ジブ	0.27	4.93×0.61×0.68	
下ジブ	0.18	4.62×0.82×0.60	
4.5m巻きジブ	0.13	4.59×0.61×0.60	
ジブマスト	0.38	4.40×0.62×0.62	
補助ジブ	0.35	1.62×0.71×0.21	
80tフック	0.97	1.98×0.73×0.45	
40tフック	0.62	1.76×0.73×0.36	
25tフック	0.73	1.74×0.74×0.32	
10tフック	0.37	1.03×0.45×0.45	

■タワーフロント主要部品の大略寸法と質量

主要部品名	質量(t)	長さ×幅×高さ(m)	備考
タワー(下)	0.99	6.68×1.80×1.72	ブームジョイントピン、フットピン付
3m(B)タワー巻き	0.53	3.13×1.64×2.00	ペンダントロープ不付
3mタワー巻き	0.40	3.13×1.64×1.72	//
6mタワー巻き	0.64	6.13×1.64×1.72	//
9mタワー巻き	0.93	9.13×1.64×1.72	//
タワー(上)	0.72	2.45×1.70×2.90	//
ジブ(下)	0.50	6.70×1.55×1.35	//
3mジブ巻き	0.20	3.10×1.35×1.35	//
6mジブ巻き	0.35	6.10×1.35×1.35	//
9mジブ巻き	0.49	9.10×1.35×1.35	//
ジブ(上)	0.68	7.10×1.35×1.35	//
(スイングレバー前後)	0.55	4.90×1.60×0.45	
スイングレバーステー	0.13	5.30×0.12×0.12	質量は2本分
タワーストップ	1.05	6.75×1.65×0.20	
タワーブライドル	0.35	1.62×0.71×0.21	
ジブブライドル	0.265	0.90×1.14×0.23	
ジブハンガ	0.25	0.85×1.40×0.25	リンク含まず
補助カウンタウエイト	1.00	0.90×0.70×0.40	

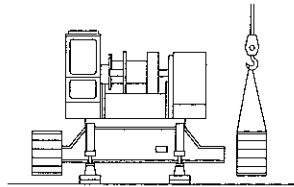
※本機の上まわりをトレーラなどに搭載して輸送する場合は、関係官庁(警察署・国道工事事務所など)の通行許可が必要です。また、輸送時の質量と寸法については、関係法規(道路交通法・道路運送車両法・道路法)にしたがい、事前にご確認ください。

※この表は分解質量の一例です。

分解・輸送要領

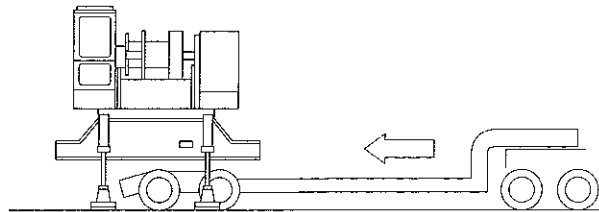
クローラ分解

- フロント、カウンタウエイトなどを外す。
- 本体をジャッキシリンダにより少し浮かせる。
- 伸縮シリンダにより、クローラを押し出して外す。



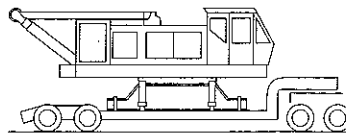
トレーラ挿入

- ジャッキシリンダで本体を高く浮かせ、その下にトレーラを入れる。

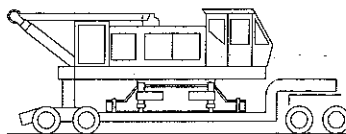


トラックビーム分解

- ジャッキシリンダを縮め、トレーラに搭載し上部旋回体を90°回転する。
- 伸縮シリンダを90°回転して格納する。



トレーラ輸送姿勢



クローラクレーンを台船上で使用する場合は、次の点に御注意下さい。

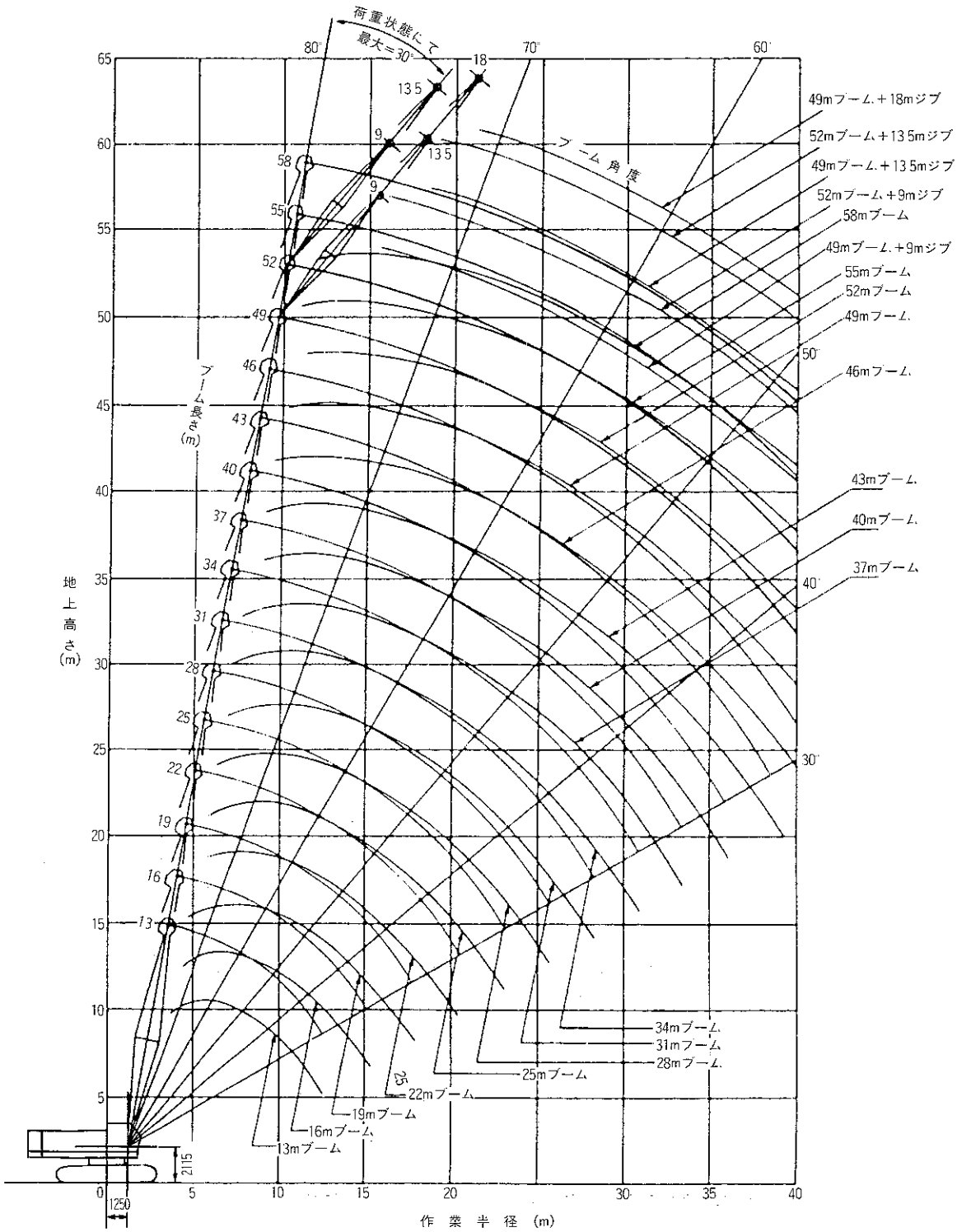
1. 使用条件については、必ず事前に当該労働基準監督署と御相談ください。
2. 台船の限界角度は、3°です。なお、台船とクレーンの固定には、十分考慮してください。

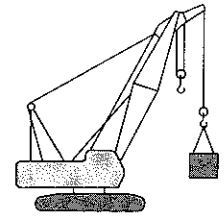
■基本装備・オプション一覧

○:基本装備 ●:オプション

項目	クローラクレーン	フルラッピングタワー	コラムシェル
上部旋回体			
第3ドラム (フリーフォール型、独立型)	●	—	—
第3ドラム用ロープ (φ22mm×170m)	●	—	—
サイドステップ; 手すり付	●	●	●
サイドステップ; 手すり無し (折り畳み式)	●	●	●
キャブ			
扇風機	●	●	●
拡声器	●	●	●
消火器	●	●	●
天窓ガード	●	●	●
前面窓ガード (上)	●	●	●
前面窓ガード (下)	●	●	●
安全装備			
音声警報装置	●	●	●
モーメントリミット解除警告灯	●	●	—
航空障害灯 (常時点灯)	●	●	—
航空障害灯 (点滅式)	●	●	—
無線通話装置 (1対1)	●	●	—
無線通話装置 (1対2)	●	●	—
風速計 (クレーン用)	●	—	—
TVモニタ	●	●	—
クレーン・タワー・フック類			
9mジブAss'y [9m基本ジブ、フック過巻防止装置、ジブマスト、ロープ(φ26mm×150m)、10tフック]	●	●	—
継ぎジブ 4.5m	●	●	—
補助ジブAss'y [補助ジブ、フック過巻防止装置、ロープ(φ26mm×150m)、10tフック]	●	●	—
補助ジブ単体 [補助ジブ、フック過巻防止装置]	●	●	—
クレーン専用部品一式 [6.5m上フーム、80tフック、ブームストップ、MLカセット、フック過巻防止装置、ロープ(φ26mm×200m)]	—	●	—
台船上搭載クレーン用品 [MLカセット、運転室内荷重銘板:変更検査に伴い必要となります]	●	—	—
ツナギ			
継ぎブーム 3m	●	●	●
継ぎブーム 3m (B) [タワーストップ取付専用ツナギ]	—	○	—
継ぎブーム 6m	●	●	●
継ぎブーム 9m	●	●	—
フック			
80tフック (8本掛け)	○	—	—
40tフック (4本掛け)	●	●	—
25tフック (3本掛け)	●	○	—
10tフック (1本掛け)	●	●	—
コラムシェル			
2.5m ³ バケツ	●	—	○
油圧タグライン (φ10mm×45mロープ付)	●	—	○
支持ロープ (φ26mm×70m)	●	—	○
開閉ロープ (φ26mm×82m)	●	—	○
主補巻用ドラム冷却クーラ	●	—	●
共通用品			
上ブーム下面バッファ (合板)	●	●	●
上ブーム下面バッファ (角材5本式)	●	●	●
ブーム歩み板 (エキスパンドメタル式)	●	●	●
ブーム歩み板 (亜鉛メッキ鋼板式)	●	●	●
ブーム歩み板 (アルミ式)	●	●	●
ブームハンゴ (各継ぎ部に1ヶ)	●	●	●

■作業範囲図





単位:t

■補助ジブ定格総荷重表

作業半径 (m)	ブーム長さ(m)														
	13	16	19	22	25	28	31	34	37	40	43	46	49	52	55
4.6	10.00														
5.0	10.00	5.1m×10.00t													
5.5	10.00	10.00	5.6m×10.00t												
6.0	10.00	10.00	10.00	6.1m×10.00t	6.6m×10.00t										
7.0	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	7.2m×10.00t	7.7m×10.00t								
8.0	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	8.2m×10.00t	8.7m×10.00t						
9.0	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	9.2m×10.00t	9.8m×10.00t				
10.0	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.3m×10.00t	10.8m×10.00t	11.3m×10.00t	11.9m×10.00t
12.0	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00
14.0	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00
16.0	14.2m×10.00t	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00
18.0		16.8m×10.00t	9.80	9.70	9.55	9.45	9.35	9.25	9.10	9.00	8.85	8.75	8.60	8.50	8.40
20.0			19.4m×8.8t	8.40	8.30	8.20	8.10	7.95	7.85	7.70	7.55	7.45	7.35	7.20	7.10
22.0				7.40	7.25	7.15	7.05	6.90	6.80	6.70	6.55	6.45	6.30	6.15	6.05
24.0					6.40	6.30	6.20	6.05	5.95	5.85	5.70	5.60	5.45	5.30	5.20
26.0					24.6m×6.20t	5.60	5.50	5.35	5.25	5.15	5.00	4.90	4.75	4.60	4.50
28.0						27.2m×5.25t	4.95	4.80	4.65	4.55	4.40	4.30	4.15	4.00	3.90
30.0							29.8m×4.50t	4.25	4.15	4.05	3.90	3.80	3.60	3.45	3.30
32.0								3.85	3.70	3.60	3.45	3.30	3.10	2.95	2.80
34.0								3.24m×3.75t	3.35	3.20	3.00	2.85	2.70	2.55	2.40
36.0									35.0m×3.15t	2.85	2.65	2.50	2.30	2.15	2.00
38.0										3.76m×2.60t	2.30	2.15	2.00	1.80	1.65
40.0											2.00	1.85	1.70	1.50	1.35

〈注〉 1 上表に示す定格総荷重は、水平堅土上定置荷役における値で転倒荷重の78%以内、および移動式クレーン構造規格で定める前方安定度115以上です。
 2 実際に吊(つ)り上げられる質量は、上表の定格総荷重から「主フック+補フック」、玉掛ロープ等(など)の吊り具一切の質量を差し引いた値です。

フック質量

80tフック	0.97t
40tフック	0.62t
25tフック	0.73t
10tフック	0.37t

- 3 作業半径とは荷を吊った状態での旋回中心からの吊り荷の重心までの水平距離です。
- 4 カウンタウェイトは、20.8tです。
- 5 作業を行う時は必ずクローラを規定位置まで拡張してください。